

再評価調書

NO. 1

事業名	林道事業	事業区間	若狭遠敷線(おおい町名田庄木谷～小浜市下根来)			
事業目的						
適正な森林整備を行うことで、森林の持つ多面的機能を持続的に発揮していくとともに、効率的に木材を安定供給していくための必要な骨格的林道を整備する。						
全体事業内容						
全体延長 L=19,800m 幅員 W=4.0m～5.0m						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成12年度	-	平成13年度	令和10年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (R5年度まで)	進捗率 (R5末)	残事業費 (R6以降残額)	備考
予算額		6,430,000	5,477,469	85.2%	952,531	
財源内訳	国庫	3,122,553	2,668,967		453,586	
	県他	3,307,447	2,808,502		498,945	
費用対効果		1.25(総費用 101.7億円、総便益 126.7億円)				
事業の進捗状況	R5までの状況	延長 L=17,208m				
	R5以降残事業	延長 L=2,592m				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	56.8億円	64.3億円	令和3年7月の熱海市伊豆山盛土崩落災害を受けて、当初計画していた残土処分場の地権者同意が得られなくなり、現場外へ運搬・処分(5.4億円)することとなった。さらに、労務費・資材単価等の上昇(2.1億円)もあり、合わせて7.5億円の事業費が増額となった。			
完成予定年度	令和8年度	令和10年度	落石対策中の既設林道の通行止めによる先線の工事遅延および技術基準の改定に伴う設計の見直しにより、事業期間の延長が2年必要となった。(R8→R10)			
事業を休止した場合の影響						
林道がつながらなければ、木材の伐採・輸送コストが増大し、県産材の利用促進が図れなくなるとともに、森林整備が停滞するなどの悪循環を生み、ひいては災害発生の原因となる山地荒廃が進むなど、森林の持つ公益的機能が十分に発揮されなくなる。						
備考						